

「反対の声 上げ続ける」市民団体



街頭で再稼働への反対をアピールする人たち＝福井市大手2丁目

市民団体「原発問題住民運動県連絡会」のメンバーら約20人が27日、福井市の県庁前で、前日に続いて再稼働反対と地元同意の撤回を訴えた。横断幕やプラカードを持ち、この日正午ごろから約1時間にわたってアピール。「福井県民は合意していない」「原発再稼働、許さないぞ」など声を上げた。

参加した越前市の前田信子さん(72)は「原発は核のごみを次世代に残すことになり、再稼働はとんでもない。対策工事しても、原発は絶対安全とは言えない。これからも反対の声を上げ続ける」と話した。

(福富智代)